

猪口孝著「社会科学入門 - 知的武装のすすめ - 」中公新書 中央公論社 1985年4月15日刊を読む

歴史を知る - 歴史は繰り返されるか？

1. (1) 歴史は人間の営みの記録である。
 - (2) 歴史を知ることは人間の営みを知ることである。
 - (3) 現在を知り、未来を見通すのに役立つのが歴史であることが多い。
 - (4) なぜならば、過去にみられる人間行動のパターンや規則性がある日消滅し、まったく異なるものが現われることは、人類が大量に突然変異でも経験しない限り、ありそうにないからである。
 - (5) 「歴史の法則性」とか「繰り返される歴史」と時にいわれるのはこのようなことを意味している。
 - (6) 厳密な意味で科学的な法則があって、歴史の進展を規定しているという類いのものではない。
 - (7) むしろ、なにかしら全体的に共通性がみられるとか、あるいは、はっきりとは特定できないが同じような要因が働いているようだというような認識であることが多い。
2. (1) 「歴史は繰り返す」という言葉を聞くと私がいつも思い出すのは 1979 年の中国のベトナム介入とその 190 年前の同じ時期に起きた 1789 年の中国のベトナム介入である。
 - (2) その両方に結びついた個人的な体験にまず触れなければならない。

P.28・29

[コメント]

歴史とは何か、なぜ歴史を学ぶのかの解答の一つがここに猪口先生によって示されている。歴史は繰り返すのであれば、歴史から何を学ぶかは我々の将来のための大切な勉強となる。広く、また、深く耕すように歴史を学びたい。

- 2009年8月7日林明夫記 -